

キャラクター名 プレイヤー名

メインクラス	シーフ	Lv.1:		レベル	9
サポートクラス	セージ	Lv.1:	セージ	性別	雄
称号クラス				年齢	21歳
種族	ヴァーナ			境遇	義理の親
出自(効果)	任意: 孤児			目標	運命

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	18	12	21	9	12	8	12
ボーナス	6	4	7	3	4	2	4
クラス修正	0	1	1	1	2	0	1
他修正							
能力値	6	5	8	4	6	2	5

HP	87
MP	73
フェイト	7

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	ソードブレイカー	至近	0	7	0	1	0	0	0
左手	ソードブレイカー	至近	0	7	0	1	0	0	0
頭部	グリーンベレー	/	1			1			
胴部	スニーキングスーツ	/				8			
補助	精霊のタリスマン	/					1		
装身具	手入れ道具	/		+1					
能力値			5	0	8	0	2	14	11
スキル								1	5
その他									
総計(右)			6	8					
総計(左)			6	8	8	11	3	15	16
総計(両)			6	15					m
ダイス数			3 d	2 d	3 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	6			6	+ 3 d
トラップ解除	5			5	+ 2 d
危険感知	6			6	+ 3 d
エネミー識別	4	4		8	+ 3 d
アイテム鑑定	4	4		8	+ 2 d
魔術判定	4	4		8	+ 2 d
呪歌判定					+ d
錬金術判定	5			5	+ 2 d

所持品	
サファイア	
冒険者セット	
ベルトポーチ	
バックパック	
ポーションホルダー	
★MPポーション*2	
HPポーション*5	
枕	
★俊足のブーツ	
ハイMPポーション*2	

現在重量: 14 所持金: 0 預金・借金:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
オーバーパス	★	-	パッシブ	-	自身	-		
効果: 狼族、移動力+5m、行動値に+1								
ワイドアタック	5	4	メジャー	武器	範囲(選択)	命中	M5	
効果: 武器攻撃を行う。2体以上を対象に取ったらダメージ+[SLx2]								
ピアシングストライク	3	5	特殊	---	自身	自動	M3	
効果: ダメージロール直前/武器攻撃ダメージ+[SL]D								
スティール	4	3	特殊	---	自身	自動	1回/SL回M4	
効果: ダメージロール直後/白兵攻撃時ドロー品決定ロール								
インタラプト	1	---	特殊	視界	単体	自動	M1	
効果: タイミング:パッシブ・アイテム以外のスキル使用宣言時に使用可能、使用済として即時終了/ナゾ1回、シフ限定								
タクティクス	3	6	セットアップ	20m	範囲(選)	知力	M5	
効果: R中【行動値】+[SL*2]/自分不可								
エンサイクロペディア	1	---	セットアップ	---	自身	自動	M1	
効果: セットアップでI秘識別								
アンビデクスタリティ	1	---	パッシブ	---	自身	---	M1	
効果: 前提: 短剣・鞭/武器情報合算								
コンコーダンス	1	---	パッシブ	---	自身	---	M1	
効果: 対象:場面(選)/射程:視界 ノ全的へ識別								
トゥルースサイト	1	---	パッシブ	---	自身	---	M1	
効果: 識別成功時[物防/魔防]判明								
アームズマスタリー	1	---	パッシブ	---	自身	---	M1	
効果: AM:短剣/命中判定+1D								
バタフライダンス	1	---	パッシブ	---	自身	---	M1	
効果: 回避判定+1D								
トレジャーマニア	1	-	特殊	視界	単体	自動	シフ1回M1	
効果: ドロー品R直前使用/+1D								
ハイウィズダム	2	---	パッシブ	---	自身	---	M3	
効果: 【知力】判定達成値+[SL*2]								
ワイドストーム	2	3	特殊	---	自身	自動	M3	
効果: <ワイドアタック>M5前提/タイミング:メジャー・判定:命中の武器攻撃を行なうシフ及びその上級クラスのスキルと同時に使用/武器攻撃ダメージ+[SL]D								

■ギルド: ピース・オブ・ゴールド/PASS: gold
<https://charasheet.vampire-blood.net/3213345>

■プロフィール
「そこいらの手癖の悪いコソ泥と違って、俺は昔から「足癖」が悪いんでな。」「ルルって言うなバァーカ! ガルって呼べバァーカ! バァーカ!!!」「これだから猫族は…ミルクでも飲んで寝てろタコ。喧嘩は雄(ヤロー)の仕事だろうがよ。」「ぶっ飛ばすぞ!」

出生後すぐ捨てられたらしく、幼少期は孤児院教会で育てられた。親代わりのシスターは、ルゥを含め種族を選ばず行き場のない子供達を養ってくれていた。甘え方の分からなかったルゥは、疾風のような脚力と生き抜く為の賢しさを利用して孤児院の「悪ガキ」として有名になっていく。ルゥが12歳の時、教会が取り壊される事が決定した。原因の一端は、ルゥの被害にあった町の人々の声だった。自分の性で住む家がなくなる。子供ながらに自分のしでかした事に心が潰れそうになった。それでも、シスターはルゥを叱らなかつた。「支えてあげられなくてごめんね。」そういう彼女に、どう答えれば良いのかわからなかつた。愛され方が下手だった。甘え方が下手だった。気にしてもらいたかつたのかもしれない。怒られたかつたのかもしれない。心の整理のつかぬまま、孤児達はそれぞれの道を歩むことになるのだった。

街に出てすぐ、ルゥは冒険者となる。仕事の種類と稼ぎの良さ、ビジネスライクな関係性構築という側面と、自分の特性を生かせると思ったからだ。ある程度仕事をこなしていた頃、より収入を安定させる為にギルドを探していたルゥは、とあるギルドに目を付けた。街中での買い物の羽振りの良さ、緩やかな雰囲気。自分に利のある場所を作るには丁度良さそうな集団だと思った。暫く様子を観察する内に気付いた。メンバーの1人、恐らくヴァーナと思いき少女に、シスターの面影があることに。付き添いの体躯の良い女も、親の様に温かい目でそれを見守る男。彼らにも、どこか孤児院の面々の面影を感じた。そして何より、行動やギルドのアレコレがどうやら思った以上に適当そうだった。他人である自分が心配してしまう程度には。

